

羽村第三中学校テニスコートへのパラシュートの落下について（抗議）

横田基地は、人口が密集した市街地に所在しており、周辺住民は航空機騒音に悩まされ、いつ発生するか分からない事故に不安な毎日を送っています。

このような中であって、平成30年4月10日（火）午後4時45分頃、羽村市立羽村第三中学校のテニスコートに米軍のパラシュートと思われるものが落ちているのを羽村市立羽村第三中学校の生徒及び外部指導員が発見しました。

防衛省北関東防衛局に内容の確認を求めたところ、横田基地広報部に確認した内容として、「4月10日午後5時ごろ、横田基地において、訓練中のパラシュートドロップ隊員1名が異常を感じたため、パラシュートの一部を切り離す措置を執った。この際、パラシュートの一部が羽村第三中学校に落下した。当該パラシュートドロップ隊員は安全理に基地に降下した。けが人、物的損害は今のところ確認されていない。」との情報提供がありました。

横田基地では、平成29年7月12日及び平成29年12月3日には、横田基地所属C-130Hによる部品遺失、平成29年1月15日には、物料投下訓練中の事故など、度重なる事故が発生しているほか、羽村市においては、平成13年9月に米空軍機の部品が落下し、羽村市内の工場の屋根を破損する事故が発生しています。

さらに今回は、子供たちが通う中学校の敷地に落下しており、一歩間違えれば人命に関わる重大な事故につながる事態であります。

これまでも横田基地所属機の部品遺失などに対する安全確保の徹底等を幾たびとなく要請している中で、再びこうした事態が発生したことは、極めて遺憾であります。

市民生活の平穏と安全を守る立場から、こうした事故は看過できません。安全対策に万全を期すよう、抗議するとともに、この原因となった今回のパラシュート人員降下訓練の中止を求めるものであります。

速やかに事故状況を調査し、徹底した原因の究明を行うとともに、正確な情報の提供を行い、今後とも、周辺住民に不安や危険を与えることのないよう、基地運用に関して安全対策の徹底を図ることを要望します。

平成30年 4月11日

{ 在日米軍司令官 ジェリー・P・マルティネス中将 殿
第5空軍司令官 ジェリー・P・マルティネス中将 殿
在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官 ケネス・E・モス 大佐 殿

東京都羽村市長 並 木 心